

○『「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」に関する「新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案」』について

採 択 研 究 課 題： インド国を拠点とした新興・再興感染症研究

研究対象国・研究機関： インド国，国立コレラおよび腸管感染症研究所

責 任 機 関 代 表 者： 千 葉 喬 三 学長

研 究 代 表 者： 岡 本 敬の介 教授

「新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案」とは，

現行の研究ネットワークを拡充することを目的として，新興・再興感染症の発生国あるいは発生が予想される国に，現地研究機関との協力の下，既設の研究施設を活用して新規かつ小規模な海外研究拠点を設置し，我が国の研究者が恒常的に現地で研究を行うことができる体制を整備することが可能であるかを探るための予備調査研究提案の公募

平成18年9月20日

文 部 科 学 省

『「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」に関する「海外研究拠点を活用した新規研究課題」及び「新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案」の募集について』の研究課題の採択について

文部科学省では、「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」に関し、海外研究拠点における研究の強化と研究ネットワークの拡充を目指して、「海外研究拠点を活用した新規研究課題」と「新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案」の2つの公募を実施しました。

このたび、感染症研究推進委員会の審査を経て、研究課題を採択しましたのでお知らせします。

1. 公募の目的及び概要

(1) 海外研究拠点を活用した新規研究課題

現行の海外研究拠点において、欠落研究対象を研究する研究課題や研究を行っている研究対象について新たな視点・研究手法に基づいた研究課題を新規に組み込むことにより、研究能力の向上を図り、海外で長期的な研究を遂行することが難しい我が国の研究機関が海外研究拠点を活用した研究の機会を得ることにより、海外における研究能力の向上と人材の育成を図ることができるようになることを目的として、海外研究拠点を活用した新規研究課題の公募を行いました。

(2) 新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案

現行の研究ネットワークを拡充することを目的として、新興・再興感染症の発生国あるいは発生が想定される国に、現地研究機関との協力の下、既設の研究施設を活用して新規かつ小規模な海外研究拠点を設置し、我が国の研究者が恒常的に現地で研究を行うことができる体制を整備することが可能であるかを探るための予備調査研究提案の公募を行いました。

2. 採択した研究課題

(1) 海外研究拠点を活用した新規研究課題 (採択件数：6件)

- ①「ハノイにおける薬剤耐性 HIV の現状および推移」(研究機関：国立大学法人金沢大学、研究代表者：市村宏、活用する海外研究拠点：ベトナム・バクマイ病院)
- ②「ベトナムにおける鳥インフルエンザ侵襲実態調査と流行予測」(研究機関：国立大学法人鳥取大学、研究代表者：小野悦郎、活用する海外研究拠点：ベトナム国立衛生疫学研究所)
- ③「HIV アクセサリー蛋白の高次構造と機能の関係に関する研究」(研究機関：獨協医科大学、研究代表者：増田道明、活用する海外研究拠点：中国科学院生物物理研究所)
- ④「ノロ、ロタウイルスなどによるウイルス性腸管感染症の疫学研究」(研究機関：藤田保健衛生大学、研究代表者：谷口 孝喜、活用する海外研究拠点：タイ国立予防衛生研究所)

⑤「タイ拠点での新興呼吸器感染症の監視と二次性肺炎発症機構の解析」（研究機関：国立大学法人東北大学、研究代表者：川上和義、活用する海外研究拠点：タイ国立予防衛生研究所）

⑥「ヘリコバクターピロリ感染による胃癌誘導因子の疫学的解析研究」（研究機関：国立大学法人神戸大学、研究代表者：東健、活用する海外研究拠点：タイ国立予防衛生研究所）

(2) 新規小規模海外研究拠点形成を目指した予備調査研究提案（採択件数：5件）

①「インド国を拠点とした新興・再興感染症研究」（責任機関：国立大学法人岡山大学、責任機関代表者：千葉喬三、研究対象施設（国）：国立コレラ・腸管感染症研究所（インド））

②「西アフリカ地域の研究拠点を核とした感染症研究の戦略的展開」（責任機関：国立大学法人東京医科歯科大学、責任機関代表者：大野喜久郎、研究対象施設（国）：野口記念医学研究所（ガーナ））

③「インドネシアにおける新興・再興感染症の国際共同研究拠点形成」（責任機関：国立大学法人神戸大学、責任機関代表者：堀田博、研究対象施設（国）：アイルランガ大学熱帯病センター（インドネシア））

④「ザンビアおよび周辺諸国との人獣共通感染症共同研究体制の確立」（責任機関：国立大学法人北海道大学、責任機関代表者：喜田宏、研究対象施設（国）：ザンビア大学サモラ・マシェル獣医学部（ザンビア））

⑤「フィリピンでの新興・再興感染症研究拠点形成のための予備調査」（責任機関：国立大学法人東北大学、責任機関代表者：菅村和夫、研究対象施設（国）：熱帯医学研究所（フィリピン））

3. 審査経緯

(1) 公募の実施

第1回感染症研究推進委員会（平成18年6月1日開催）において検討された公募の方針に基づき、文部科学省で公募要領を作成し、平成18年7月19日（水）～平成18年8月17日（木）の期間に一般公募を実施しました。

(2) 審査の実施

感染症研究推進委員会のもとに設置した審査ワーキンググループにおいて、書面審査を実施し、ヒアリング審査が必要と判断された提案機関についてはヒアリング審査を実施しました。その後、審査ワーキンググループで審議を行って採択候補を決定し、感染症研究推進委員会へ報告しました。

第2回感染症研究推進委員会（平成18年9月14日開催）において、審査ワーキンググループから報告された採択候補について審議を行い、採択課題を決定しました。

4. 今後の予定

提案機関に対して審査結果を通知するとともに、速やかに採択機関と委託契約を締結し、採択した研究課題を実施します。

（お問い合わせ）

研究振興局研究振興戦略官付 岩崎、佐々木

電話：03-6734-4369（直通）